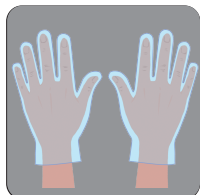


▶ つぶ・つぶグルー用ぼかしカラーリング お取扱説明書

この度はお買い上げ頂き誠に有難うございます。ご使用前に必ずよくお読みの上、大切に保管して下さい。

本品は用途以外には一切使用できません。食べ物ではございません。非常に細かい微粉末なので、誤って吸い込んだりお取扱いにご注意ください。

本体であるつぶつぶグルーの使用方法をご理解の上本品をご使用下さい。色付けしますのでつぶつぶグルー使用時に必要なものに加えて使い捨て前提の市販のビニール手袋（もしくはゴム手袋）が必要です。



- ※作業時に手に色がついてしまうことや肌荒れを防ぎます。手のサイズに対して大き過ぎると作業がしにくいいためなるべくフィットしたものを使用します。万が一手についた場合は石鹸でよく手を洗って下さい。
- ※つぶつぶグルーが手で触れる程度の温度に下がった状態でこねて下さい。熱いままですと手袋についてやりにくいです。
- ※色付用の性質上、他に色がつかないようにいらぬ新聞紙（下に敷いてこぼれ対策）、小石等（一時的な土台）があると作業しやすくなります。

●ご使用方法

! 本品を加える量によって色付き具合が変わりますが、色が濃い方向へは後から修正ができますが後から薄くすることはできません。初めはかなり少ない分量からお試し下さい。

本品は色付けするためのものです。性質上こぼれたり手についたりすると色がついてしまいます。作業中は下に古新聞紙を敷いたりビニール手袋を使用しその点をご留意下さい。

つぶつぶグルー 80g 入りの上部キャップ内の分量を例に記します。もっとも多く色付けしたい場合でも一気に大量に色付けするのはやりにくいため、この分量ごとに色付けしていき後でくっつけることでご希望量として下さい。

手順 1 つぶつぶグルーを熱湯で全体を透明ジェル状にします。



手順 2 すぐに次の作業に移らず必ず 1～2 分おいてから割りばしで取り出して手でこねてなるべく薄めの扁平状のジェル状にしておいて下さい。その後熱湯の入った元の容器内へ戻しておきます。（色付け作業前にこぼれてしまう想定で古新聞紙等を引いておいて下さい。）

手順 3 色付け作業に入ります。前述の古新聞紙を敷き、ビニール手袋を装着し、下図を参考に少ない分量から加えて繰り返しこねて色付けていきます。（新聞紙にジェルがつくとくっつきます。新聞紙へは直接つかないように注意して下さい。）（下図はブラウンの時の例）

なるべく水をきってから

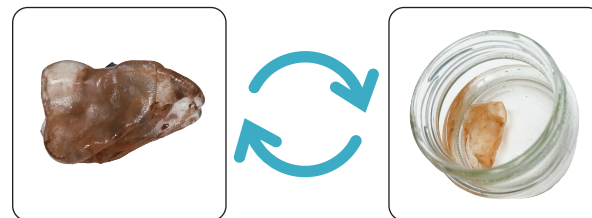


小石を土台の上に扁平にしたジェル

付属のスプーンで中央付近へ

こぼれないようにジェルをたたんで包み込むように

手順 4 先ほどのジェルをゴム手袋をはめた手で本剤が外にこぼれないように折りたたむように覆ってから繰り返しこねて混ぜこんでいきます。



※ジェルがある程度固くなってくるまでこねてなるべく一様な色になるように繰り返しこねます。固くなってきたら再度先ほどのお湯へつけ戻し、これを繰り返しながらこねていきます。

手順 5 まだこの段階では色ムラがあると思います。この色ムラが気になる場合は再度このジェルを熱湯の入った容器へ戻して少し柔らかくして、またこれを取り出して繰り返しこねます。

手順 6 最後にこのジェルを流水で流して全体が完全に固化するまで放置して下さい。色合いは水に入れるとこの色合いより若干薄い程度の見た目となります。濃くしたい場合は手順 1 に戻って追加で付属のスプーン半分量以下少量を加えながら同様に行います。

※本品の分量はつぶつぶグルー 80g の上部キャップ内に対して最大でも同梱のスプーン 1 杯程度です。これ以上多く入れても色合いが変化せず、また多すぎると接着機能に影響が出る可能性があります。

最終色イメージ：ベースが白となりブラックであれば少量混ぜるとグレーへ、というようになりま。素材色も色々ありますので DIY で調合して自分のカラーを作ろう！

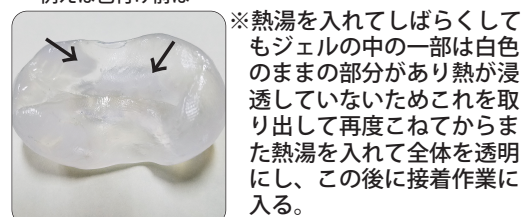
本品ブラック使用		本品ブラウン使用		本品パープル使用
スプーン 1/4 程	スプーン 半分程	スプーン 1/4 程	スプーン 半分程	スプーン 半分程

★色付け完了後は実使用に際してゴム手袋を装着する必要はありません。

この色付けしたグルーの接着使用時は基本的に同じですが多少コツが必要になるため、下記をお読み下さい。

※元々のつぶつぶグルーは熱湯を加えて白色から透明に変わることによって接着能力を有した状態になったことが視覚的にわかりますが色付けすることによってこの状態であるかどうかは視覚的にわかりにくくなり、これが原因で付かない等の失敗の原因となります。

例えば色付け前は



※熱湯を入れてしばらくしてもジェルの中の一部分は白色のままの部分があり熱が浸透していないためこれを取り出して再度こねてからまた熱湯を入れて全体を透明にし、この後に接着作業に入る。

ワンポイント

※色付いたものは熱湯を注いでも接着能力を有した状態へなっているかどうかが見た目でわかりにくい念のため繰り返しこねて熱湯へ繰り返し注いで失敗しにくくなります。



※色付いたジェルは熱湯を注いだ後は柔らかくなって基本的にはこれが接着力を有した状態ですが、可能であれば熱湯を注いで行う作業を 2 回行って確実に全体に熱が行き渡った状態にしてから接着作業に入ると失敗がなくなるコツとなります。

重ねて本品は用途以外には使用できません。また誤って目に入るようなアクシデントがあった場合は絶対にこすらずに流水で洗い流し速やかに医療の診断を仰いで下さい。

発売元：アズージャパン株式会社 商品に関するお問い合わせ TEL:046-200-1221